

集落支援だより

No.2



この実は何かな？
甘いかな？

問い合わせ：岩国市中山間地域振興室

集落支援員 金丸 恵子

電話：0827-29-5015

「柱島離島地域環境美化交流促進事業」に参加しました！



サクランボ！ヤマグワ！
自然の恵みがいっぱいです

6月10日（日）梅雨の中休みの日、「地域おこし協力隊」の横山さんが中心となってボランティアを募り、柱島出身者や横山さんの友人「住みます芸人」ぶるぼんさんと総勢46名で柱島に上陸しました。

過去最多の人数が集まり、横山さんの指示のもと五班に分かれて、清掃活動を開始。

刈り払い機でガンガン刈り、ガンゼキで掃き集め、最後にブロワーで仕上げる。「溝の中の落ち葉や泥を取るのにシャベルがあったらよかったネ！」と参加者の声です。

久しぶりに島に帰られた方と再会されての作業のためでしょうか、皆さん笑顔で明るかったです。



彼ら兄弟はボランティアで清掃活動を行っている「Earth Clean 活動の会」のメンバーです。

兄「もう、何度も来ているよ。活動は楽しかった。自然豊かで人が明るくて、お礼を言ってくれた。街より賑やかだった。」

弟「嬉しかった。」また来てネ！



長靴 25cm

シーボルトミミズは30cm 越え？

柱島小中学校校歌

作詞 杉本 泰生
作曲 上田 辰子

一
きみは生きるのが好きだ
母の背に似た四国の山をみ
青い海原を遡るべに
どんなに波が高くても

きみは目に見えぬ地平をめざす
光を 力を 大きな未来を

二
島はきみの灯台だ

みかんと歴史のにおう柱島

どっしり海底に根をおろし

どんなに夜が深くても

ほるか目に見えぬ地平を照らす

夢を 心を まぶしい主命を

三
きみは日本が好きだ

潮騒が黒髪を吹きあげる

ふるさとのきびしさが好きだ

わがて愛と真理にめぐめ

きみこそが輝く地車となる

風を 岬を 明るく英知を



五月二十四日、柱島の岩田所長や島づくり推進協議会の善本会長、地域おこし協力隊の横山さんと一緒に、柱島の施設や畑を見て回りました。
学校の講堂には校歌が掲げてあります。
「海・波・灯台」、嗚呼、ここは島の学校だと、感動しました。私の通った学校は、九州の筑後平野の片隅、校歌は「川も野も光の波・・・」で始まります。きつと校歌を口ずさんだ方は、それぞれの故郷の風景や友人の顔を思い出されるのでしょうか。



ドクターヘリ発着場



イノシシ対策に、試しに
トウガラシの種を蒔きました



No1 キノコ解答



これは冬虫夏草というキノコです。「オオセミタケ」という名前の通り、地下にはセミの幼虫がいます。もう少しして地上に出て飛び立てたのに…
菌に捕まりキノコの姿で地上に現れました